

大島出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 大島出張所

【定点把握疾患】 2026年 第43週（10月19日～10月25日）

大島・・・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3件

インフルエンザ（A型） 38件

COVID-19 3件

急性呼吸器感染症（ARI） 57件※

利島・・・なし

新島・・・手足口病 1件

インフルエンザ 3件

式根島・・・なし

神津島・・・なし

※急性呼吸器感染症（ARI）の報告対象は大島のみ

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第42週（10月12日～10月18日）

・インフルエンザの定点当たり報告数は9.16で先週（15.88）より減少していますが、31保健所中1保健所が警報レベル、9保健所が注意報レベルであり、これらの保健所管内人口の合計が東京都全体の34.77%に達しているため、注意報レベルが続いています。

今週のコメント

感染性胃腸炎について

出典：厚生労働省、東京都感染症情報センター、東京都保健医療局

生成AIで作成

【おう吐物処理の具体的な方法】
出典：東京都感染症情報センター

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどによる感染症で、腹痛や嘔吐、下痢などの症状を引き起こします。秋から冬にかけてはウイルスによる感染が増えるため注意が必要です。以下は、ウイルスによる感染性胃腸炎について説明します。



生成AIで作成

【原因】

ノロウイルス、ロタウイルスなどが多いです。

【感染経路】

病原体が付着した手で口に触れることによる接触感染、汚染された食品を食べることによる経口感染（食中毒）等があります。

【症状・潜伏期間】

病原体により異なりますが、潜伏期間は1～3日程度です。例えばノロウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛で、小児ではおう吐、成人では下痢が多いです。有症期間は平均24～48時間です。

【予防方法】

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

便やおう吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

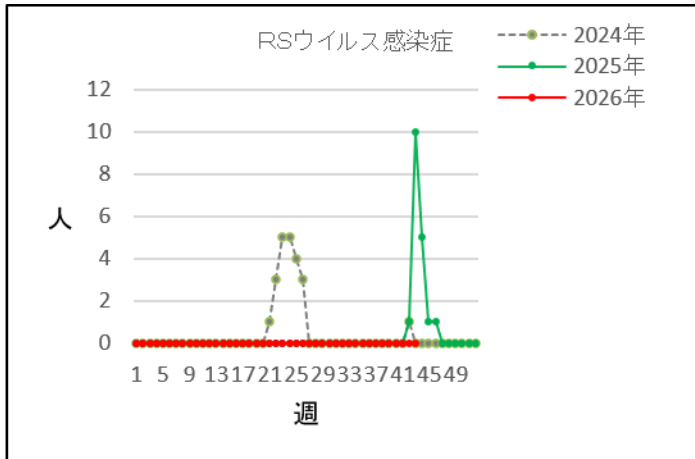
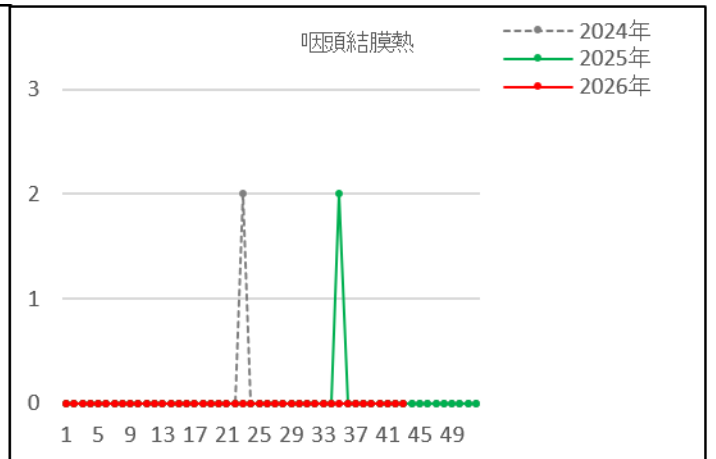
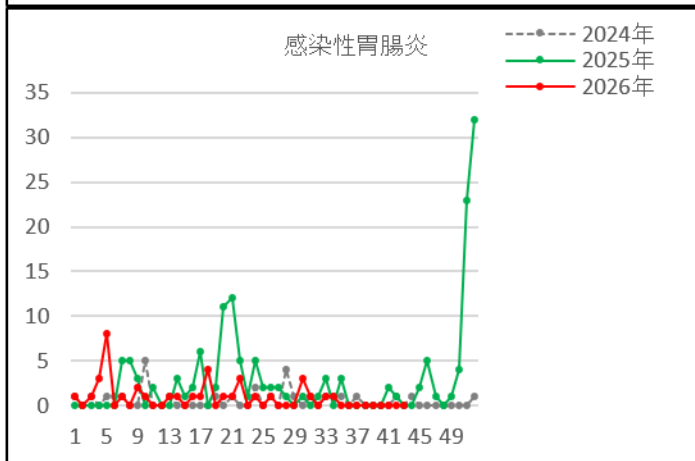
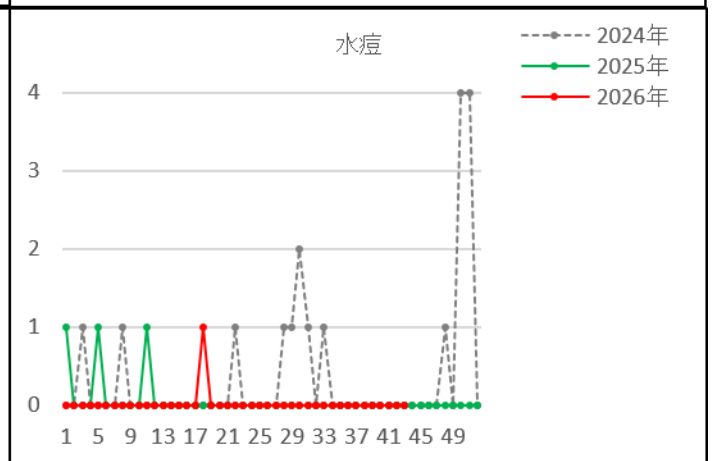
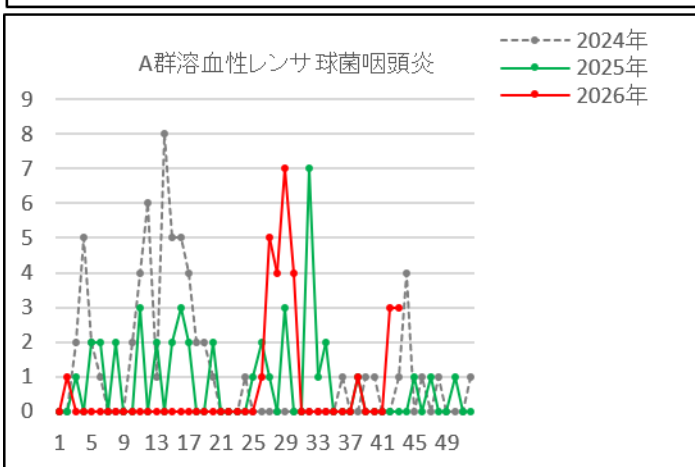
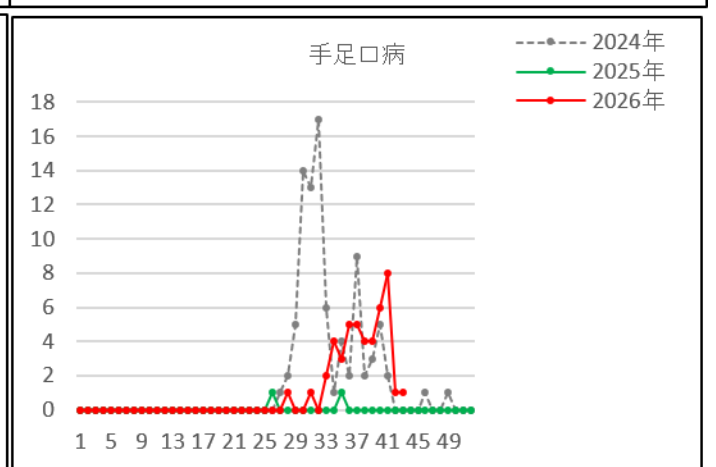
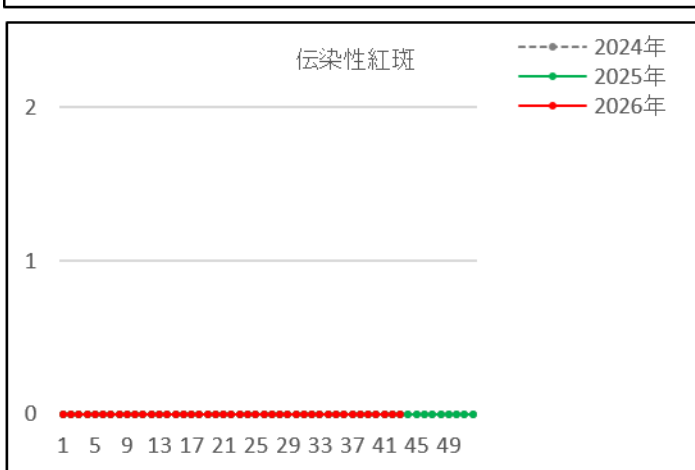
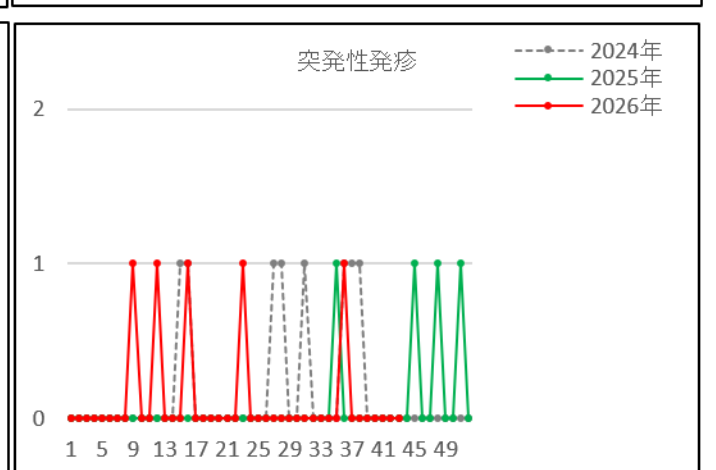
島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

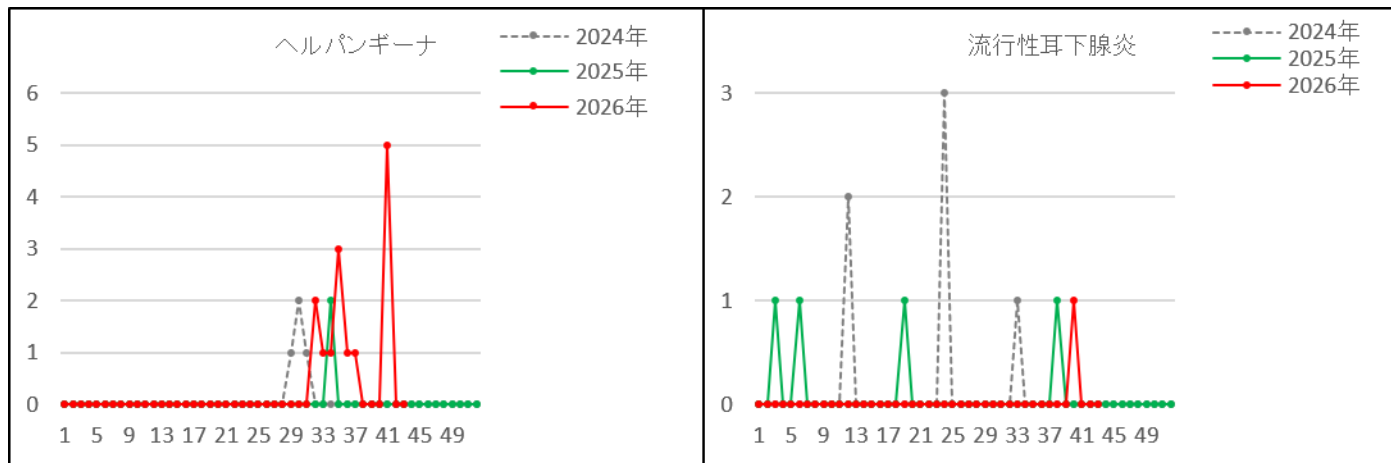
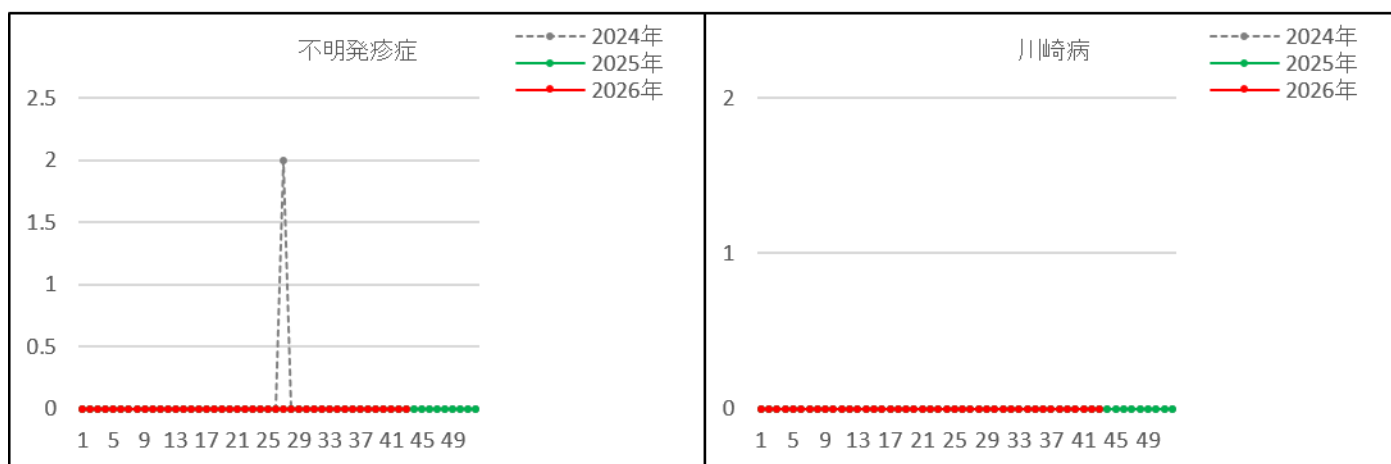
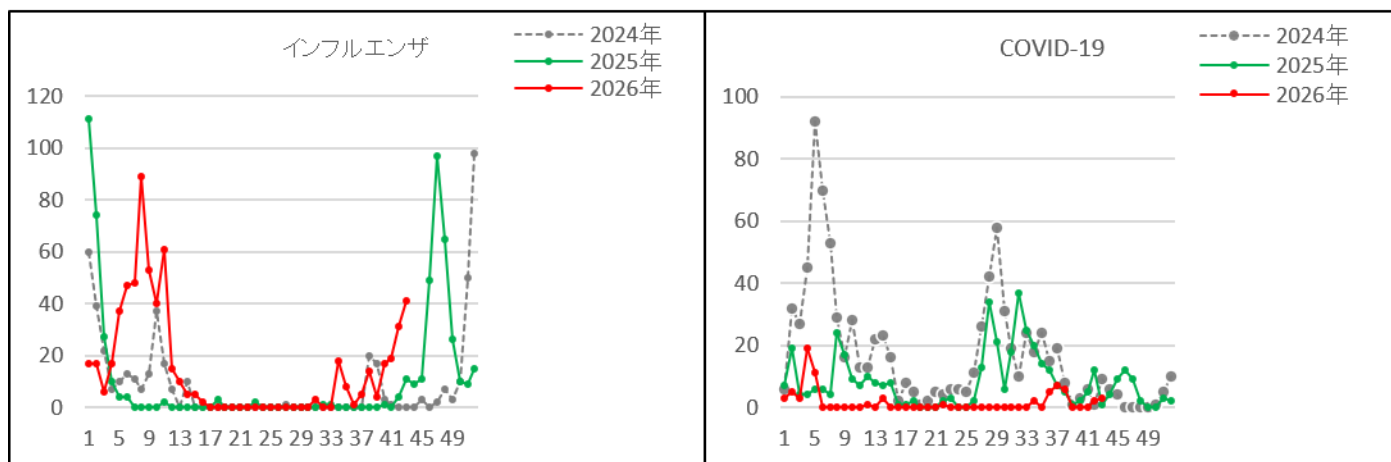
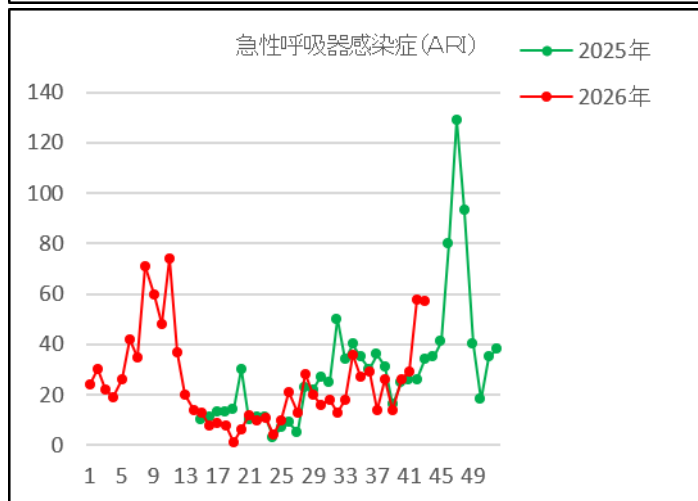
※ 大島出張所管内、東京都（全域）、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○ 大島出張所管内⇒島しょ保健所大島出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/oshima/index.html>

○ 東京都（全域）⇒Web版感染症発生動向（東京都感染症情報センター）<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp>

○ 全国⇒国立健康危機管理研究機構（感染症情報提供サイト）<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>





※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握・分析し情報提供をすることにより、感染症発生および、まん延を防止することを目的として行っています。

大島では、大島医療センターが小児科定点・疑似症定点の医療機関に指定されており、医師の診断に基づき集計しています。また、大島出張所管内では、協力届出医療機関である利島村診療所・新島村本村診療所・新島村式根島診療所・神津島村診療所の医師より報告を受けた人数を計上しています。